



兄島のマイマイ保全のためのネズミ駆除

兄島での殺鼠剤の散布

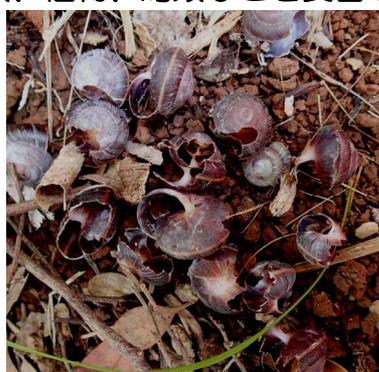
- ◆ 兄島では外来ネズミであるクマネズミにより、世界遺産の価値として重要な陸産貝類（マイマイ）が、絶滅の危機にさらされているため、2016年8月にヘリコプターからの殺鼠剤の散布を計画しています。

クマネズミによる被害

- ◆ 生活環境被害：家屋、船舶等に侵入し、壁に穴を開けたりケーブルをかじったりします。
- ◆ 農業被害：農作物を食害します。
- ◆ 生態系への被害：陸産貝類、植物、鳥類などを食害します。



クマネズミ



クマネズミの食害を受けた
陸産貝類の殻



タコノキの実をかじるクマネズミ

生態系への被害を防ぐための、これまでの駆除（兄島以外も含む）

実施年	対象地	対策内容
2007年	西島	ベイトステーション（ネズミが通れる穴の開いた空箱に殺鼠剤を入れて、ネズミに殺鼠剤を食べさせるもの）で殺鼠剤を使用
2008・2010年	父島属島 ・ 聳島、 計11島	ヘリによる殺鼠剤空中散布
2012年	南島	地上からの殺鼠剤の人力散布
2015年	兄島・西島	ヘリによる殺鼠剤空中散布 →中止し、過去のネズミ対策の検証を実施
2015年～	兄島	かごわなによる捕獲、ベイトステーションを使った対策再開
2015年～	南島	ベイトステーションを使った対策再開



殺鼠剤
（スローバックという
分包紙に入ったもの）



ベイトステーション

現在、兄島の陸産貝類を保全するため、兄島の約1/8の面積に相当する陸産貝類重要保全エリアで行われているベイトステーションによる対策でも、陸産貝類の回復は本来の生息密度には程遠く、残りの約7/8の面積では食害が進行しており、兄島全域での対策が必要です。

今年8月の兄島での殺鼠剤散布計画（兄島陸産貝類保全プロジェクト）



環境省では、2015年度に開催したネズミ対策検証委員会で、過去の殺鼠剤散布の環境影響と、2015年の中止に至る経緯を検証し、島民との合意形成や、環境影響の事前・事後調査、影響緩和策が十分でなかったことが明らかとなりました。

一方で兄島の陸産貝類の保全には、兄島全域でのネズミ対策が必要であり、今年度の事業では、ヘリコプターからの空中散布やベイトステーションを組み合わせ、兄島全域、人丸島及び瓢箪島での殺鼠剤散布を計画しています。検証時の実証試験における殺鼠剤のリスク推定の結果を踏まえ、陸産貝類保全、ネズミ駆除効果、海況、アカガシラカラスバトなど他の生物への影響緩和等の観点から比較検討し、8月の実施を計画しました。実施に当たっては、ネズミ駆除効果測定のためのモニタリングや、生態系影響モニタリングと合わせ、洋上流出を防ぐ措置を取ります。

計画決定には島民の皆さまとの合意形成が不可欠ですので、意見交換会へのご参加をお願いします。

住民意見交換会のご案内（5/19）

- ◆ 日時：5月19日（木）19：00～21：00
- ◆ 場所：小笠原ビジターセンター
- ◆ 内容：兄島における殺鼠剤散布計画と、影響緩和策
ネズミ以外の生物への殺鼠剤影響の検証結果 など

◆◆お問い合わせ先◆◆

本チラシに関するお問い合わせは、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

環境省小笠原自然保護官事務所

Tel/Fax：04998-2-7174/7175

E-Mail： RO-OGASAWARA@env.go.jp

林野庁小笠原諸島森林生態系保全センター

Tel/Fax：04998-2-3403/2650

東京都小笠原支庁

Tel/Fax：04998-2-2123/2302

小笠原村環境課

Tel/Fax：04998-2-3111/3222

詳しい情報は下記のホームページをご覧ください。
小笠原自然情報センターHP：<http://ogasawara-info.jp/>